

2019年12月20日

学校法人平和学園
平和学園小学校
2019年度 学校だより 第10号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
TEL 0467-87-1662/0131
FAX 0467-87-0411
URL <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

平和の花

年間聖句

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう。

ローマの信徒への手紙 15章13節

2019年も残りわずかとなりました。今年もお支えありがとうございました。

12月4日、アフガニスタン東部で日本人医師の中村哲さんを乗せた車が何者かに銃撃され、中村さんのほか、運転手や警備員5人が死亡しました。移動にはガードが付き、毎日経路を変えるなどのセキュリティ対策が取られていたにも関わらず起きてしまった襲撃。このニュースが流れると全世界から悲しみの声が寄せられました。この事件によって中村哲さんという人物を知った人も多いと思います。国会で戦地への自衛隊派遣反対の証言をした中村哲さん。アフガニスタンで用水路や井戸の建設に尽力し、その事業で潤った土地は東京ドーム約3500個分にもあたる約1万6000ヘクタール。約60万人が恩恵を受けました。また、それだけにとどまらず、イスラム寺院であるモスクやマドラサ（イスラム神学校）を建設しました。そのことについて中村さんは「水が来た時ももちろん喜びましたけど、モスクが建つと聞いて、もっと喜んだんですよ。『これで解放された』と言った。それまで自分たちが営んできた伝統的な生活がすべて、外国の進駐によって否定されてきたわけですね。イスラム教徒であることが悪いことであるかのように、一種のコンプレックスが支配していた。やっぱり“地元の人が、元気がでるには…”というのはありましたよね。」と話しています。それらはクリスチャンとしての中村哲さんの言動ですが、世界の中で最も苦しい立場であるアフガニスタンの人に寄り添い、貧しい食事と同じ服装で生活を共にし、共に生きたのです。さらに宗教の垣根を超えた世界平和を求めてのその行動に畏敬の念を抱く人が多くいることが、今は世界中の希望となっています。中村哲さんに続く指導者が次々に出現し、理想の社会である世界平和が実現するように、私も願っています。

賀川豊彦、村島婦之両先生は、太平洋戦争後すぐに平和学園を創立しました。何よりも平和を第一に考え、行動し、私財を投じてこの平和学園を創立されたのです。中村哲さんと賀川豊彦先生との共通点は、『今一番苦しんでいる人のため、共に寄り添い生きる。人間の心の豊かさを追い求め、理想社会の実現のため、自分ができる行動をし、これからの展望と考え方を示した。』ということではないでしょうか。

平和学園に生きる私達も、祈ることはできます。恒久の平和を求めて歩みを確実に一歩前に進ませるために祈り、自分ができる事をするに行いたいと思います。

クリスマスおめでとうございます。そして、よき新しい一年をお迎えください。

